

繊維を知り尽くしているからできる宅配用保温システム 独自のノウハウを活かして 新しい価値を創造する企業

オルセン

オルセン(世田谷区太子堂、菊地悠三社長、03・5787・8431)は、平成5年に繊維業を基軸とした商社として設立。繊維のプロだからこそできる高性能・高品質の保温システムを運営している。

宅配食品を「簡単に」「あつあつで」デリバリーする同社オリジナルの宅配用保温システム「Doctor・Hot」は、ヒーターで温めた特殊樹脂製の保温シートを宅配食品の下に敷くことで、長時間保温することができるとが特長で、保温シートは電子レンジで加熱することもできる。保温シートは「volcaro」という商品で、ボルケーノ(火山)が起源になっている。家庭用の電子レンジで3分ほど加熱すると120〜135℃にもなり、約30分の間65〜70℃をキープできる。デリバリーにかかる時間は20分前後なので商品をおいしく食べるには十分だ。

また、同社独自のノウハウを活かして、新たな商品開発をしており、例えば、電源コードや音響コードなど、さまざまなコード類を束ねてカバーすることで、外観をすっきりまとめることができる筒状ロープの「スリットチューブ」、ベルトに均一に穴が開いているので、簡単な治具と手順で結束が可能になる梱包用ベルトの「ラダーテープ」等がある。こうした商品は、顧客とのコミュニケーションの中から重要なヒントを得て開発されたものばかりだ。

「ニーズは限られたお客様。世の



宅配用保温システムの「Doctor・Hot」



コードをすっきり束ねることができる「スリットチューブ」

中にないものを製造し、新しい価値を創造する」と菊地社長は語る。開発した商品も限られた顧客には需要があるが、決して多いわけはない。ただ、そういった部品が集まり製品はでき上がっていく。それがまた新たな製品を生み出し、新たな価値を創造していくことになる。

詳しくはホームページにて

<http://www.orusen.co.jp/>